

◆車両計画

ごみの搬入時間は、土曜日・日曜日及び年末年始を除く平日の午前 8 時から午後 6 時までとします。
ただし、火曜日と金曜日は、午前 0 時から午前 5 時まで、夜間収集ごみを搬入します。
新ごみ処理施設への車両の出入りは、東八道路からの左折入場、左折出場を原則とします。

関係車両の種類及び 1 日の走行台数（片道）

種 類	使用する車両	走行台数	備 考
可燃ごみ収集車両	2～4 トンパッカー車	平均約 190 台 最大約 310 台	新規に発生
不燃ごみ・粗大ごみ 資源物収集車両	2 トンパッカー車 2 トントラック	平均約 120 台 最大約 200 台	既に運行中 （資源化施設）
焼却灰の搬出車両	10 トンダンプトラック （天蓋装置付き） 10 トンタンクローリ車	平均 4～5 台	新規に発生
資源物の搬出車両	10 トントラック 等	平均 12 台	既に運行中 （資源化施設）

◆工事計画

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
解体・ 造成工事	既存建物解体撤去工事	■				
	造成工事		■			
建築・ プラント 工事	土木工事（基礎工事）			■		
	建築工事（躯体工事・ 煙突設置工事）			■	■	
	機械設備工事			■	■	
	外構工事				■	
	試運転				■	
供用開始						→

◆環境影響評価項目の選定

大気汚染、悪臭、騒音・振動、土壌汚染、地盤、水循環、日影、電波障害、景観、廃棄物、温室効果ガスの 11 項目を選定し、今後、環境影響評価を実施します。

環境影響評価項目の選定

	環境 影響 評価 項目	大気 汚染	悪臭	騒音・ 振動	水質 汚濁	土壌 汚染	地盤	地形・ 地質	水循環	生物・ 生態系	日影	電波 障害	風環境	景観	史跡・ 文化財	活動の 場の 自然との 触れ合い	廃棄物	温室 効果ガス
工事の施行中		○		○		○	○		○								○	
工事の完了後		○	○	○			○		○		○	○		○			○	○

○：環境影響評価項目として選定する項目

◆予測事項について

工事の施行中

環境影響評価項目	影響要因	予測する事項
大気汚染	建設機械の稼働	浮遊粒子状物質、二酸化窒素
	工事用車両の走行	浮遊粒子状物質、二酸化窒素
騒音・振動	建設機械の稼働	建設作業騒音・振動
	工事用車両の走行	道路交通騒音・振動
土壌汚染	土地の掘削	土壌汚染物質の土壌中の濃度 地下水への溶出の可能性の有無 汚染土壌の量
地盤	土地の掘削	地盤沈下の範囲及び程度 地盤の変形の範囲及び程度
水循環	土地の掘削	地下水の水位、流況の変化の程度
廃棄物	既存建築物等の解体撤去 建設発生土、建設工事に 伴う廃棄物の発生	特別管理産業廃棄物（飛散性アスベスト）の排出量 石綿含有廃棄物の排出量 廃棄物（コンクリート塊、金属くず等）の排出量 汚泥の排出量 建設発生土の排出量

工事の完了後（施設の供用時）

環境影響評価項目	影響要因	予測する事項
大気汚染	施設の稼働（煙突からの 排出ガス）	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、ダイオキシン類、 塩化水素、水銀
	関係車両（ごみ収集車両 等）の走行	二酸化窒素、浮遊粒子状物質
悪臭	施設の稼働	臭気指数
騒音・振動	施設の稼働	工場騒音・振動
	関係車両の走行	道路交通騒音・振動
地盤	地下構造物の存在	地盤沈下の範囲及び程度 地盤の変形の範囲及び程度
水循環	地下構造物の存在	地下水の水位、流況の変化の程度
日影	施設の存在	日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等日影の状況の変化の程度、冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度
電波障害	施設の存在	建築物等の設置による遮へい障害及び反射障害（地上デジタル放送・衛星放送対象）
景観	施設の存在	主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 圧迫感の変化の程度
廃棄物	施設の稼働に伴う廃棄物の発生	廃棄物（焼却灰（主灰）等）の排出量 汚泥の排出量 特別管理産業廃棄物（飛灰）の排出量
温室効果ガス	施設の稼働	温室効果ガスの排出量またはエネルギーの使用量の程度及びそれらの削減の程度

この資料についてのお問合せは...
ふじみ衛生組合新施設建設準備室

東京都調布市深大寺東町七丁目 50 番地 30
電話：0 4 2－4 9 0－5 3 7 4